

令和2年度

事業計画書 ~~(案)~~

特定非営利活動法人ケア・センターやわらぎ

やわらぎ立川事業所

事業所 サービス 定員	事業目標 (数値目標と目玉計画)	事業計画 (特に解決すべき課題と具体的取り組み)
地域密着型 認知症対応型 通所介護 定員 10名	31年度計画：8.8人（稼働率88%） 31年度実績：7.8人（稼働率78%） R2年度計画：8.1人（稼働率81%） ・生活リハビリを中心に「出来ることは自分で！」を合言葉に、利用者と一緒に一人づつ合わせた計画を作成し、利用者が主役のデイサービスを目指します。 ・認知症に特化し選ばれるデイサービスを目指します。 ・地域と高齢者の交流の場づくりを広めます。	・課題ケースを解決のために協力体制を作り、ミーティングの充実、他社との連携、情報共有を行う。 ・個別性に特化しできることを見つけ満足度を高める。 ・はるカフェ体操教室の充実と地域への拡大を目指し、地域包括や市と連携をとる。 ・まんまる新聞、写真お便りを継続し、ニュースレターやアプローチブックを更新し広報していく。 ・運営推進会議の開催（年2回実施）し、地域との連携を拡大させる。 ・イベントの企画を積極的に発信し、地域のイベントに参加する。 ・利用者、スタッフが協力して同じ目線で自立度向上を目指す。
訪問介護 (予防)・ 総合事業 自立支援総合事業 有償サービス 学校介助員事業 育児支援事業	31年度計画 28,000時間 31年度実績 25,900時間 R2年度計画 27,000時間 ・特定事業所加算の取得 ・ヘルパー教育と新規採用の拡大 ・障害の支援と充実 ・育児支援事業の拡大	・課題ケースに積極的に取り組み、専門的知識と経験を生かしたケアサービスを展開していく。 ・医療的、精神疾患の理解を深める。 ・総合事業スタッフ（支援サポーター）の研修会を開催し育成していく。 ・同行援護（視覚障害）に対する理解と研修会を開催する。 ・学校介助員の具体的な研修と育成を強化する。 ・ヘルパー不足を解決するために事業全体でサポートし体制を整える。 ・養育支援に参入しスキルアップする。
研修事業	・初任者研修受講者 ・介護福祉士実務者研修	・受講生の増加を目指して、PR活動を強化する。 ・当法人の就労に繋がるようフォローアップする。
健康体操サポート 事業	・立川市委託 2019年9月終了 ・やわらぎ独自事業として30グループ 会員は約400人	・サポーターのためのフォローアップ研修の充実を努める。

ケア・センターやわらぎ国分寺
石川 治江

「ケア・センターやわらぎ国分寺」の役割

「ケア・センターやわらぎ国分寺」は、1987年10月に「ケア・センターやわらぎ」を立川市に開設してから4年後の1991年9月に開設しました。きっかけになったのは、立川事務所設立当初からコーディネーターとして活躍していた国分寺市在住の職員から、自分たちの地元にも「やわらぎ」が欲しい、という声が挙がり、本気でやるならやろうじゃないかということになり、なんの勝算もなく勢いだけでスタートしました。もともと勢いだけで始めた「やわらぎ」ですから国分寺事務所を開設するハードルはかなり低かったと記憶しています。

そんな勢いが29年間なんとか維持してこられたのも、皆様のご支援ご協力があったることだと感謝しています。もちろん職員の皆さまの地域への熱い思いがなければ続けてくることはできませんでした。

これからも新たな地域の課題にも目を向け、必要なサービスをタイムリーに提供できるよう、以下の事業に積極的に取り組んで参ります。

①訪問介護サービス（視覚障害者、重度障害者なども含む）

在宅で困難な状況の高齢者、障害者の方々へのサービスを行います。

②認知症対応型通所介護サービス

認知症の診断をされた方々が日中おだやかに過ごされるデイサービス事業です。

③居宅介護支援事業所

在宅におられる高齢者の方々やご家族の相談を受け、適切なサービスプランを作成し、具体的なサービスに結びつけます。

④国分寺市からの委託事業

- ・高齢者生活支援ヘルパー事業：介護保険の認定を受けられないが、日常生活に少々困難を抱えている方へのサービス提供。
- ・育児支援ヘルパー事業：出産直後の母親への支援事業で、児童虐待への予防や子育てへの安心をヘルパーさん達が担います。
- ・自立促進事業：介護認定を受けておらず、経済的に困難な方へのヘルパー派遣事業。

・シルバーピア管理業務：昨年に引き続き、住民の方が安心して生活できるよう、良き隣人としてサポートさせていただきます。

⑤「認知症予防ダンス・だんだんダンス」の開発と認知症予防の啓蒙活動

2015年に筑波大学院人間総合科学研究科と東京工科大学医療保健学部の2大学協力のもと独自に開発した認知症予防ダンスは、法人内のデイサービスや国分寺地域の事業所が合同で開催する「にんじん食堂」、国分寺市が主催するイベントにも積極的に参加します。

⑥地域貢献活動の実践

「にんじん食堂」としてすでに3年間の実績を基に、2019年から、「児童虐待予防推進事業・子はたから」とのコラボ事業として位置づけ、料理づくりとともに、絵本とワークショップの活動を継続して行います。

⑦コーディネーターとヘルパーのスキルアップ事業

毎月ヘルパー会議と研修を実施します。この研修を強化し、技術、知識等の向上を図り、どのようなニーズにもこたえる人材育成に取り組みます。

やわらぎ国分寺事業所

事業所 サービス 定員	事業目標 (数値目標と目玉計画)	事業計画 (特に解決すべき課題と具体的取り組み)
地域密着型 認知症対応型 通所介護 (予防) 定員 12名	31年度計画:8.4人 (稼働率 70.0%) 31年度実績:7.4人 (稼働率 61.6%) R2年度計画:7.9人 (稼働率 66.0%) ・個々のニーズを把握した個別対応 ・楽しみ・生きがいを感じる環境作り ・介護者の介護負担の軽減	・地域の方へのアプローチ強化 ・利用者新規獲得のための外部ケアマネへの営業活動の強化。 ・地域のイベントに参加し事業所のPR活動の実施。 ・iPadを活用した認知症改善プログラムへの取り組み。 ・運営推進会議の開催。 ・個別ケア、レクレーションによる心身機能の維持向上への取り組み。 ・買物や、外食など屋外活動の実施。 ・機能訓練による身体機能の維持改善を図る。
訪問介護 (総合事業・ 障害者総合支援 含む)	H31年度計画 13,743時間 (44時間/1日) H31年度実績 14,592時間 (47時間/1日) (9%増) R2年度計画 15,500時間 (50時間/1日) (6%増) ・より介護度の重いケア、より質の高い障害福祉サービスを積極的に提供する。 ・特定事業所加算の取得体制の維持。	・特定事業所加算取得の強みを生かし、要支援の方対象の総合事業を縮小し、その人的資源を、より介護度の重いケアへ優先的に提供する。そのために居宅介護支援事業所へ毎月、積極的な働きかけを行う。 ・ヘルパーのスキルアップ研修を毎月開催する。法人内、外の研修に参加、事例検討を重ね問題解決のスキルをあげる。 ・ヘルパー確保のためのチラシ配布、初任者研修修了時のリクルート活動を行う。 ・相談支援従事者初任者研修を受講し、質の高い障害福祉サービスをより多く提供する。今年度は2名の受講を目指す。
居宅介護	H31年度計画 312件/月 H31年度実績 332件/月 R1年度計画 345件/月 (4%増) ・研修への参加、事例検討会の開催を積極的に行い、新人職員のスキルアップを図るとともに、メンターも一緒に成長していく。 ・特定事業所加算の取得体制の維持。	・地域包括ケアシステムにおける介護支援専門員の役割を理解する。(多職種との連携) ・新人職員が多いため、積極的に研修への参加を行い、スキルアップを図る。 ・週1回のミーティング時、困難ケースの事例検討を行い、問題解決のスキルを上げる。 ・31年度は平均8名の体制での件数実績であり、現状7名の体制となっているため、担当件数を増やすために1名以上の増員を図る。
国分寺市本町 4丁目アパート シルバーピア 管理業務	・地域で生活する高齢者が、社会のなかで安心して生活できるよう、地域の実情に応じた体制作りをする。 ・ピアに入居される方が、楽しみを持って生活していただくようみんなが参加できるイベントを企画する。	・住人との交流会を定期的で開催する。 ・高齢により不安を抱えて生活している住人に対し理解のある対応を行う。 ・看護師による週2回の健康相談 ・地域包括支援センターや自治会の方々と情報を共有し、地域で支える仕組みを作る。 ・「良き隣人」として生活相談業務を行う。

やわらぎホーム・西立川
主幹 橋本 勇治

みんなが笑顔になれる場所

ホームの開設から15年目を迎えました。グループホーム、ショートステイ、デイサービスの3事業が相乗効果を発揮できるよう、事業間や他事業所への研修を積極的に実施し職員の連携を高めます。また、地域イベントの活動にも積極的に出店し、やわらぎホームをより多くの方に知って頂ける機会をつくります。今後も地域の福祉拠点として、地域の皆様の協力を頂きながら、利用者様とご家族様の生活をサポートし、みんなが笑顔になれる場所（事業所）を目指します。

【事業所全体の取り組み】

1. 勉強会の年間計画を実施するとともに認知症実践者研修、実務者研修、介護福祉士等の資格取得の推進を図り、職員全体の知識と技術を底上げし質の高いケアを提供します。
2. デイサービス・ショートステイのサービスの向上に工夫を凝らし、より一層の利用者獲得に努めます。利用希望者の受け入れを迅速化し、様々なニーズに最大限対応します。
3. 施設の中庭に季節ごとのお花（春、チューリップと菜の花）（夏、ひまわり）（秋、コスモス）を植え、誰もが気軽に集まれる憩いの癒しスポットを提供します。

【事業別の具体的な取り組み】

○入居者の皆様が日常生活を主体的に楽しめるグループホーム

一人ひとりにあった役割活動の設定や地域のイベント等への参加を通じて、生き生きとした生活を送ることができる環境をつくります。質の高い認知症ケアを実施し認知症医療と連携した細やかな体調管理を行い、安心して暮らせる環境を提供します。

○在宅生活の実現を目指すショートステイ

利用者様の在宅生活の延長が実現できるよう、個別ニーズに則したりハビリやイベント行事への参加など、宿泊中でも楽しめる機会をつくります。認知症重度の利用者や緊急時の受け入れにも柔軟に対応し、だれもが安心して過ごせる環境を関係機関と連携を密にとり調整します。

○地域一番の玉手箱デイサービス

多彩な定期ボランティアの受入れやクラブ活動、はるカフェ等を定期的実施し、“メニューが多彩なやわらぎデイ”を定着させます。また、中庭での園芸活動と料理作りを一体化した“農・食一体の生活リハビリ”やノルディックウォーキングによる歩行訓練を目玉計画に位置づけ、希望する生活の実現を目指します。

やわらぎ西立川事業所

事業所 サービス 定員	事業目標 (数値目標と目玉計画)	事業計画 (特に解決すべき課題と具体的取り組み)
地域密着型 認知症対応型 共同生活介護事業 定員：18名	31年度計画:17.8人 (稼働率99%) 31年度実績:17.5人 (稼働率97.4%) 1月末実績 R2年度計画:17.8人 (稼働率99%) ・個別の生活ニーズに則した役割活動の設定と地域交流	稼働率の維持・向上 ・入所申込者の獲得(ケアマネへの営業) ・待機者の入居までの期間を迅速化 ・重度化予防と空床期間の短縮 ・一人ひとりに合った役割活動の設定や自治会などの地域活動への参加 ・リビングフロアを一人ひとりが落ち着ける過ごしやすい環境整備 ・コミュニケーションロボット(aibo)による癒しの提供 ・ADL維持の生活リハビリを定着化 ・地域イベントへの積極的な出店(富士見文化祭等) ・転倒を予防する環境整備、医療と連携した細やかな体調管理 ・外部研修の参加(認知症実践者研修) ・買い物代行等、生活支援業務の一部を外部化し、重度化に対応した日中活動時間の確保 ・3事業の中で2つ以上の事業を担当できる職員体制の確立 ・各種委員会の主導による勉強会の実施
短期入所生活介護 定員：20名 (一般と介護予防の合計)	31年度計画:17.0人 (稼働率85%) 31年度実績:15.9人 (稼働率79.8%)1月末実績 R2年度計画:16.6人 (稼働率83%) ・認知症重度利用者の積極的な受け入れ ・個別ニーズに則したリハビリやイベント行事への参加	稼働率の維持・向上の為、利用登録目標を80名に設定 ・営業活動強化(3事業一体の営業活動・広報誌やパンフの刷新) ・病院やケアマネとの連携を密にした認知症重度者の受け入れ ・生活支援ショートや緊急ショートステイの積極的な受け入れ ・新規利用者退所後のご家族、ケアマネへの電話連絡によるフォロー ・9時前の入所や夕食後の退所まで柔軟な入退所の対応 ・リハビリのできる環境整備(振動マッサージ、機能訓練マシン導入) ・日中活動としてのミニレクや体操の展開 ・ボランティアさんの協力による多様な倶楽部活動、イベントの実施 ・デイとショートの一体的な運転ルートの見直し ・入退所業務の簡素化(様式・マニュアルの見直し) ・計画書様式を活用したオムツ適正サイズを見直し、オムツ使用量を低減 ・多職種協働による認知症利用者のケース会議の実施 ・3事業の中で2つ以上の事業を担当できる職員体制の確立
通所介護事業 定員：23名 (一般と総合支援の合計)	31年度計画:19.5人 (稼働率85%) 31年度実績:18.7人 (稼働率82%)1月末実績 R2年度計画:19.8人 (稼働率86%) ・利用者様一人ひとりの希望や想いの実現	稼働率の維持・向上の為、利用登録目標を80名に設定 ・イベントチラシ・ニュースレターを配布し活動をPR ・はるカフェの毎月開催(世界の料理作りと体操) ・見学や一日体験にて事業所の特色を紹介 ・小地域ケア会議や他職種連携会議への参加による顔の分かる事業所作り ・クラブ活動の充実(陶芸・書道・茶道・大正琴・カラオケ・園芸等) ・個別の生活リハビリや小グループでの機能訓練の実現 ・ニーズの高い外食イベントの定期的な実施 ・中庭の菜園と料理作りを活用(料理レクに合わせた野菜作り) ・多彩な定期ボランティアの受け入れ ・ノルディックウォーキングでの歩行訓練の実施 ・やわらぎエンジョイデイの実施(体操インストラクターによる運動) ・入浴枠の拡大(午後入浴の検討) ・短時間利用の受け入れ(3時間~4時間) ・ICT活用により記録業務の効率化 ・法人内インターシッパの活用 ・記録様式の簡素化

特定非営利活動法人ケア・センターやわらぎ

〒190-0013

立川市富士見町2-31-23

TEL 042-526-2207

FAX 042-526-2208

